



使徒継承

七十人の一人、聖エウオディオスから現在に至る

この継承の系譜に連なる

主教

Garland F. Byers, Jr., J.D., D.D.

諸国民への主教、使徒的委任のもとに



1. 聖エウオディオス、七十人の一人^{CO}

紀元30年頃、七十人の一人としてキリストに遣わされた（ルカ伝福音書10:1）

紀元53年頃、聖ペテロの後のアンティオキア初代主教

この使徒継承の系譜は、紀元30年頃の使徒エウオディオスから今日にまで及び、2026年現在で1,996年にわたる。

聖エウオディオスからアンティオキア総主教 Cyril VIII に至る継承は、アンティオキア教会が保持するアンティオキア総主教の名簿に、また1724年以降はメルキト・ギリシャ・カトリック教会が保持する名簿に従っている。これらは、それらの教会が自らの使徒継承を、聖エウオディオスがその後を継いだアンティオキア初代主教聖ペテロにまでたどると同じ名簿である。

聖エウオディオスは、正教会によって七十人の一人である使徒として崇敬されている。正教会は9月7日に彼の祝日を守り、また1月4日に共に記念される七十使徒の中に彼を数えている。ローマ・カトリック教会は5月6日に、アンティオキアの主教聖エウオディオスとして彼を崇敬している。歴史家エウセビオスは紀元325年頃、彼を聖ペテロに次ぐアンティオキアの初代主教として記録し、紀元380年頃の『使徒憲章』は、聖ペテロが彼を任命したと記録している。

主教職への聖別は、以下に名を挙げる諸教会を通じて、一人から次の一人へと行われた。

この系譜の主教の中には、聖人としても崇敬されている者がいる。その名の傍らの印は、生涯の聖性のみにかかわる。それはいかなる聖別の有効性にもかかわらない。聖人として崇敬されているか否かにかかわらず、表に挙げたすべての主教は、継承において等しくその位置を占めている。

聖 聖人：英雄的な聖性の生涯を送り、今は神のもとにある者として教会が公に崇敬し、その記憶を暦において記念する人。初代教会では、聖人は信徒とその主教たちの称賛によって認められた。のちには、ローマ・カトリック教会では正式な列聖によって、正教会では列聖（glorification）によって認められるようになった。

福者 福者：ローマ・カトリック教会において、列福された人。列福は聖人としての列聖に先立つ正式な段階である。

C ローマ・カトリック教会により聖人または福者として崇敬されている。

O 正教会により聖人として崇敬されている。

CO ローマ・カトリック教会と正教会の双方で聖人として崇敬されている。

赤 殉教者：信仰のために命をささげた者。

誰が聖人であるかについて、諸教会の見解は常に一致するわけではない。ある教会が、他の教会が崇敬しない人を崇敬することもあり、印はそれぞれの聖人をどの教会が崇敬しているかを示している。

アンティオキア

「弟子たちのキリステアンと稱へらるる事はアンテオケより始れり」（使徒行伝11:26）と記されたアンティオキアの主教座。聖ペテロがローマに赴く前に創設した。アンティオキア教会が保持する名簿に従い、聖エウオディオスの後を継いだ聖イグナティオスから Cyril V に至るまでの、アンティオキアの主教および総主教たち。

2. 聖イグナティオス ^{CO} 殉教者	68
3. Heron I	100
4. Cornelius	127
5. Heron II	151
6. 聖 Theophilus ^{CO}	169

7. Maximus I	188
8. 聖 Serapion ^{CO}	191
9. 聖 Asclepiades ^{CO}	212
10. Philetus	218
11. Zebinus	232
12. 聖 Babylas ^{CO} 殉教者	240
13. Fabius	253
14. Demetrian	256
15. Amphilochius	263
16. サモサタの Paul	267
17. Domnus I	270

18. Timaeus	273	46. Martyrius	461
19. Cyril	277	47. 縮絨工 Peter	465
20. Tyrannion	299	48. Julian	466
21. Vitalius	308	49. John II	475
22. 聖 Philogonius ^{CO}	314	50. Stephen II	490
23. Paulinus	324	51. Stephen III	493
24. 聖 Eustathius ^{CO}	325	52. Calandion	495
25. Eulalius	332	53. John Codonatus	495
26. Euphronius	333	54. Palladius	497
27. Flacillus	334	55. Flavian II	505
28. Stephen I	341	56. Severus	513
29. Leontius	345	57. Paul II	518
30. Eudoxius	350	58. Euphrasius	521
31. 聖 Meletius ^{CO}	354	59. 聖 Ephraim ^O	526
32. Anianus	357	60. Domnus III	546
33. Euzoius	360	61. シナイの聖 Anastasius I ^{CO}	561
34. Dorotheus	370	62. 聖 Gregory ^{CO}	571
35. Paulinus II	371	63. 聖 Anastasius II ^{CO} 殉教者	599
36. Vitalius II	376	64. Gregory II	610
37. 聖 Flavian I ^{CO}	384	65. Anastasius III	620
38. Porphyrius	404	66. Macedonius	628
39. Alexander	408	67. George I	640
40. Theodotus	418	68. Macarius	656
41. John I	427	69. Theophanes	681
42. Domnus II	443	70. Sebastian	687
43. Maximus II	450	71. George II	690
44. Basil	459	72. Alexander II	695
45. Acacius	459	73. Stephen IV	742

74. Theophylact	748
75. Theodore	767
76. John IV	797
77. Job	810
78. Nicholas	826
79. Simeon	834
80. Elias	840
81. Theodosius	852
82. Nicholas II	860
83. Michael	879
84. Zacharias	890
85. George III	902
86. Job II	917
87. Eustratius	939
88. Christopher	960
89. Theodore II	966
90. Agapius	977
91. John V	995
92. Nicholas III	1000
93. Elias II	1003
94. George Lascaris	1010
95. 有德者 Macarius	1015
96. Eleutherius	1023
97. Peter III	1028
98. John VI	1051
99. Aemilian	1062
100. Theodosius II	1075
101. Nicephorus	1084

102. John VII	1090
103. John IX	1155
104. Euthymius	1159
105. Macarius II	1164
106. Athanasius	1166
107. Theodosius III	1180
108. Elias III	1182
109. Christopher II	1184
110. Theodore IV (Balsamon)	1185
111. Joachim	1199
112. Dorotheus	1219
113. Simeon II	1245
114. Euthymius II	1268
115. Theodosius IV	1269
116. Theodosius V	1276
117. Arsenius	1285
118. Dionysius	1293
119. Mark	1308
120. Ignatius II	1342
121. Pachomius	1386
122. Nilus	1393
123. Michael III	1401
124. Pachomius II	1410
125. Joachim II	1411
126. Mark III	1426
127. Dorotheus II	1436
128. Michael IV	1454
129. Mark IV	1476

130. Joachim III	1476
131. Gregory III	1483
132. Dorotheus III	1497
133. Michael V	1523
134. Dorotheus IV	1541
135. Joachim IV	1543
136. Michael VI	1577
137. Joachim V	1581
138. Joachim VI	1593
139. Dorotheus V	1604
140. Athanasius III (Dabbas)	1611
141. Ignatius III (Attiyah)	1619
142. Euthymius III	1635
143. Euthymius IV	1636
144. Macarius III (Zaim)	1648
145. Neophytos I	1674
146. Athanasius IV (Dabbas)	1686
147. Cyril V (Zaim)	1694

メルキト総主教庁

1724年以降、ローマ司教と交わりにあるメルキト・ギリシャ・カトリック教会のアンティオキア総主教たち。Cyril VIからCyril VIIIに至る。

148. Cyril VI (Tanas)	1724
-----------------------------	------

149. Athanasius IV (Jawhar)	1759
150. Maximos II (Hakim)	1760
151. Theodosius V (Dahan)	1761
152. Cyril VII (Siaj)	1794
153. Agapius II (Matar)	1796
154. Ignatius IV (Sarrouf)	1812
155. Athanasius V (Matar)	1813
156. Macarius IV (Tawil)	1813
157. Ignatius V (Qattan)	1816
158. Maximos III (Mazloun)	1833
159. Clement (Bahous)	1856
160. Gregory II (Youssef-Sayour)	1864
161. Peter IV (Geraigiry)	1898
162. Cyril VIII (Geha)	1902

バイルートとアメリカ合衆国

1905年に総主教Cyril VIIIによって聖別された、バイルートのメルキト大主教Athanasios Sawaya以降、各主教はその前に挙げられた主教によって聖別された。

163. Athanasios (Sawaya)	1905
164. Anthony Aneed	1911
165. Wallace David de Ortega Maxey	1945
166. Nils Bertil Alexander Persson	1986
167. Samuel Guido, Jr.	2004

168.

Garland F. Byers, Jr.

2013



聖職

按手

2008年8月17日、按手により。ペンシルベニア州パーマーントンのSt. Paul's Lutheran Orthodox Chapelにて。

主教聖別

2013年4月20日、聖餐の執行の中で按手により。St. Paul's Lutheran Orthodox Chapel（この日はペンシルベニア州スラティントンのAmerican Legion Post 16で集会）にて。

主聖別者

主教 Samuel Guido, Jr.

共同聖別者

Bradley A. Varvil 主教

Michael Byus 主教

James Thompson 主教

按手および主教聖別の証書は、主教聖別の写真とともに、[主教についてのページ](#)に掲載されている。

奉仕

2013年4月20日、Lutheran Orthodox Church, Inc. において主教聖別を受け、その後同団体において Western North Carolina 教区の大主教を務めた。バイヤーズ主教は現在、同団体に所属していない。

名誉神学博士 (honoris causa)、Lutheran Orthodox Church, Inc. より授与、2013年4月20日。



本ページの日本語の聖句は、すべて文語訳聖書（旧約：明治元訳、1887年／新約：大正改訳、1917年、日本聖書協会）から引用しています。いずれもパブリックドメインです。本文：[ウィキソース](#)。聖句は抜粋して引用しており、省略箇所は「.....」で示しています。

アンティオキアの聖エウオディオス、イタリア派、17世紀。[Wikimedia Commons](#)経由、パブリックドメイン。原画からサイズ変更を施した。